

Ruby用仮想マシンYARVの完成度向上

笹田耕一(東京大学大学院情報理工学系研究科)

● 目標

- YARVの完成度を向上し、2007年中のRuby 1.9.1 リリース！

● 開発成果

- YARVをRuby公式処理系として統合
- テスト項目を増加、とくにbootstraptestを新設
- バグの修正による失敗するテストの削減
- 継続やデバugg、プロファイラAPIなどの未着手機能の仕様の再検討および実装
- ドキュメントの整備
- 新機能追加(Fiber、YARV命令列のロード、ストア機能、YARVアセンブラ等)
- 最適化(リフレクション機能や末尾呼び出しの最適化などの効率化等)
- YARV普及のための広報活動
- 開発合宿、開発ミーティングなど、Ruby開発コミュニティとの密な連携

見込み通りの
完成度に！